



# 若冲と応挙

I期

2023年  
9月10日(日) ~ 11月12日(日)

II期

2024年  
11月19日(日) ~ 1月28日(日)

〔年末年始休館〕2023年12月27日(水) ~ 2024年1月5日(金)  
〔開催時間〕10時 ~ 17時(入館は16時30分まで)

〔拝観料〕一般800円(65歳以上・大学生600円 中高生300円 小学生200円)

※観のみに限り、20名様以上は団体割引各700円

〔主催〕相国寺承天閣美術館 京都新聞

〔協賛〕一般財団法人 萬年会 鹿苑寺 慈照寺

相国寺承天閣美術館

Shokokuji Jotenkaku Museum

〒602-0898 京都市上京区今出川通烏丸東入ル

TEL.075-241-1042

http://www.shokoku-ji.jp/

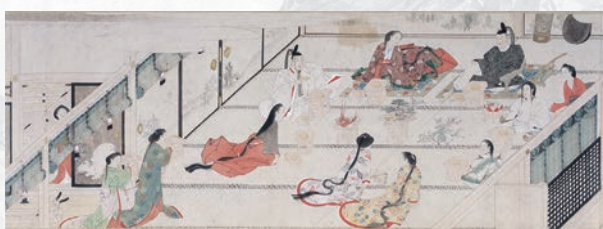


●応挙の代表作、重要文化財の《七難七福図巻》ができるまで

円山応挙の才能を早くから見抜いて庇護していたのは、滋賀の円満院の祐常法親王（二七三〜七三三）でした。現在相国寺に所蔵されている重要文化財、七難七福図は、祐常の指示のもと、制作された傑作です。『仁王経』という経典に説かれた災いと福を描き出したものです。三年の歳月をかけて、三十六歳の応挙が完成させました。

今回は、依頼者の祐常によって描かれた下絵、それを受けた応挙の画稿、そして完成した大作絵巻を第Ⅰ期に展示いたします。ぜひ、実際の作品からその制作意図をたどってください。

Ⅰ期 重要文化財  
《七難七福図巻》  
一挙公開



重要文化財 七難七福図巻 福寿巻(部分) 円山応挙筆 Ⅰ期



重要文化財 七難七福図巻 天災巻(部分) 円山応挙筆 Ⅰ期



重要文化財 七難七福図巻 天災巻(部分) 円山応挙筆 Ⅰ期

応挙の画技  
若冲と応挙

若冲の画技

Jakuchu

Ohkyo

Ⅱ期 重要文化財  
《鹿苑寺大書院障壁画五十面》  
一挙公開

若冲は若干四十四歳にして、鹿苑寺の大書院の障壁画全五十面の制作を一手に担いました。一の間から四の間、そして狭屋の間に至るまでの障壁画を若冲が制作しました。制作年は宝暦九年（二七五九）、若冲のもう一つの大作、動植綵絵の制作も行っていた時期です。寺院空間を彩る作品群を展示室でお楽しみください。

●若冲の水墨の大作、重要文化財《鹿苑寺大書院障壁画》全五十面

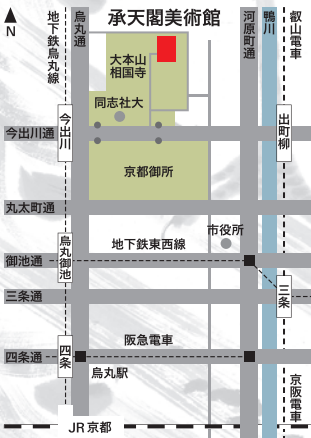
十八世紀の京では、多くの絵師が各々の画技をふるいました。なかでも、伊藤若冲と円山応挙は現在も愛好者の多い、人気の絵師です。本展覧会では、相国寺と伊藤若冲の関係を軸に、相国寺と相国寺塔頭所蔵の作品を公開いたします。また、Ⅰ期は円山応挙の傑作、重要文化財《七難七福図巻》全三巻と画稿、下絵を、Ⅱ期は伊藤若冲の傑作、重要文化財の《鹿苑寺大書院障壁画》五十面を一挙公開いたします。



釈迦如来像 伊藤若冲筆 相国寺蔵 通期



亀図 関中浄復賛 伊藤若冲筆 鹿苑寺蔵 Ⅱ期



- ▶ JR京都駅より京都市営地下鉄「今出川」駅下車 3番出口から徒歩8分
- ▶ 阪急電車烏丸駅より京都市営地下鉄「今出川」駅下車 3番出口から徒歩8分
- ▶ 京阪電車「出町柳」駅3番出口より 徒歩20分、または市バス59・201・203号系統「同志社前」下車 徒歩6分、市バス102号系統(洛バス)「烏丸今出川」下車 徒歩8分

相国寺承天閣美術館  
〒602-0898 京都市上京区今出川通烏丸東入ル  
TEL 075-241-0423 <http://www.shokoku-ji.jp/>



薔薇文鳥図 円山応挙筆 相国寺蔵 Ⅱ期

【記念講演会】

- Ⅰ期 二〇二三年十月十四日(土)  
一四・〇〇〜一五・三〇 二階講堂  
〔講師〕大阪国際大学 村田隆志先生
- Ⅱ期 二〇二四年一月十三日(土)  
一四・〇〇〜一五・三〇 二階講堂  
〔講師〕皇居三の丸尚蔵館 上嶋悟史先生
- 【ギャラリートーク】  
十月七日(土)／十一月四日(土)／  
十二月二日(土)／一月六日(土)  
一四・〇〇〜一四・三〇 展示室  
〔担当〕承天閣美術館学芸員 本多潤子